

## レコードプレーヤー

ティー・ダブル

商品型番：**TW-510**



※レコードは付属していません。

このたびは「レコードプレーヤー | TW-510」をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 目次

- |          |     |              |       |
|----------|-----|--------------|-------|
| ●安全上のご注意 | 2   | ●レコードを聴く     | 7、8、9 |
| ●セット内容   | 3   | ●音声出力        | 9     |
| ●主な仕様    | 3   | ●お手入れについて    | 10    |
| ●各部のなまえ  | 4、5 | ●故障かな？と思ったら  | 11    |
| ●ご使用前の準備 | 6   | ●保証とアフターサービス | 12    |

# 安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために「警告」と「注意」の2つに区分しています。

## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

**お守りいただく  
内容を次の図記号で  
説明しています。**

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

⊘ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

● の記号は「しなければならない行為（強制事項）」を示します。

## 警告



### 交流100V以外で使用しない

表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧では使用しないでください。  
火災・故障の原因になります。



### 雷が近づいたらACアダプタを コンセントから抜く

落雷の恐れがあります。



### ACアダプタ、コードを傷つけない

無理な使いかたをするとACアダプタ、コードが破損しますので次のようなことはしないでください。○重いものを乗せる。○途中でつぎ足したりなどの加工する。○無理に折り曲げる。○傷をつける。○ねじったり、引っ張ったりする。○熱器具に近づける。○電源コードを束ねたまま使用する。



### 分解・修理・改造はしない

火災・故障の原因になります。また保証期間内であっても保証の対象外となります。



### 水に濡らさない

本機を濡らしたり、水につけないでください。  
ショート・感電の原因となります。



### 内部に異物を入れない

内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものをいれないでください。  
火災・故障や感電の原因となります。



### 濡れた手でACアダプタ、電源プラグ を抜き差ししない

感電やけが、火災の原因となります。



### 異常・故障、破損時には、すぐに使用を 中止する

そのまま使用すると火災等の原因となります。  
お買い上げの販売店、または発売元に点検修理を依頼してください(有料)。

## 注意



### 温度の異常に高い場所で使用しない

火災・故障の原因になることがあります。



### 調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電・故障の原因になることがあります。



### 駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない

樹脂部品の変形の原因になります。



### ACアダプタをコンセントから抜く

長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。



### ぐらついた台や傾いた所に置かない

落下し、ケガ・故障の原因になります。



### ACアダプタは付属のもの以外を使用しない

故障の原因になります。



### 付属のACアダプタを他の機器に使用しない

故障の原因になります。



### スピーカーの音量を上げ過ぎない

聴力障害などの原因になります。

## ● セット内容

※箱を開けたら以下のセット内容を必ず確認してください。

●TW-510本体 ●取扱説明書(保証書付/本誌)

●ACアダプタ ●電源ケーブル

※ACアダプタと電源ケーブルは箱に入り、緩衝材(発泡スチロール)にはめ込まれています。  
開封後、緩衝材と一緒に廃棄なさいません様、充分にご注意ください。

●ドーナツ盤用アダプタ ※本体上面レコードプレーヤー部に収納してあります

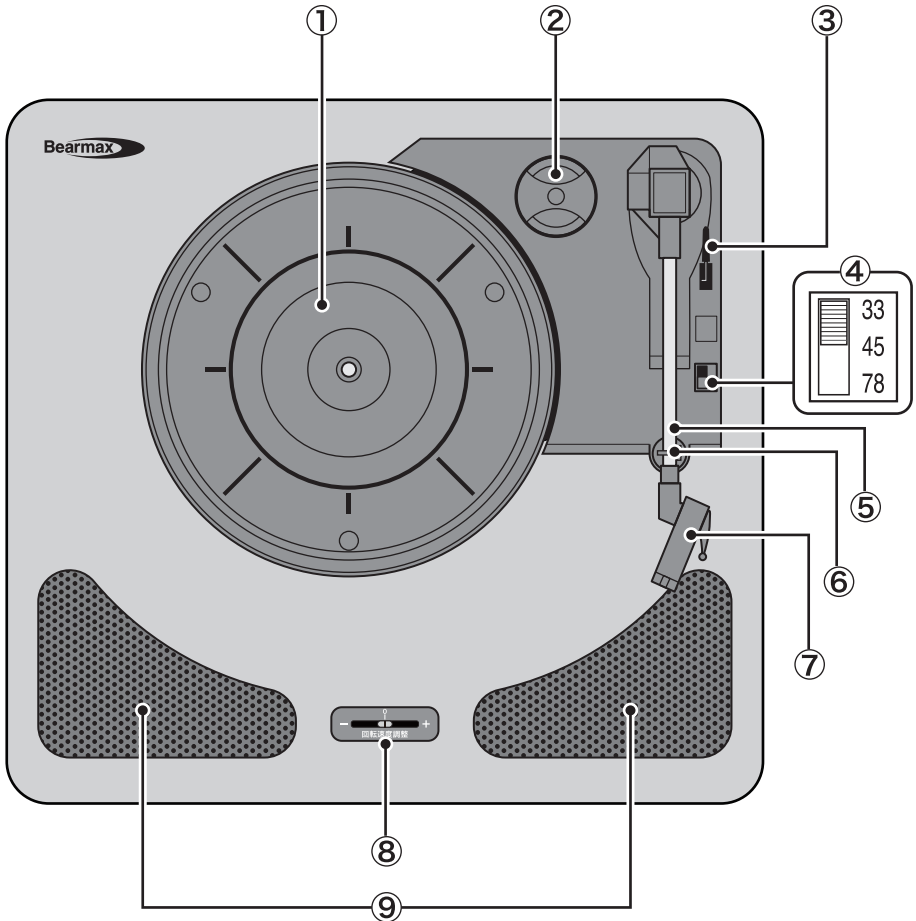
## ● 主な仕様

製品共通	電 源	AC100V 50/60Hz
	消費電力	5 W
	外形寸法(約)	幅：360 × 高：115 × 奥：335 mm
	質 量(約)	2.3 kg
	出力端子	音声：RCA端子(ステレオ：赤/白)
内蔵スピーカー	インピーダンス	4 Ω
	実用最大出力	3 W + 3 W
	再生方式	ステレオ
レコードプレーヤー	回転速度	33 $\frac{1}{3}$ 、45、78 rpm
	駆動方式	ベルトドライブ
	機能	回転速度調整(ピッチコントロール)
	レコード針	使用可能時間：200時間 材質：サファイア
ACアダプタ	定格入力	AC100-240V 50/60Hz 0.8A
	定格出力	DC5V 1A
USBケーブル	コード長(約)	1180 mm

※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。

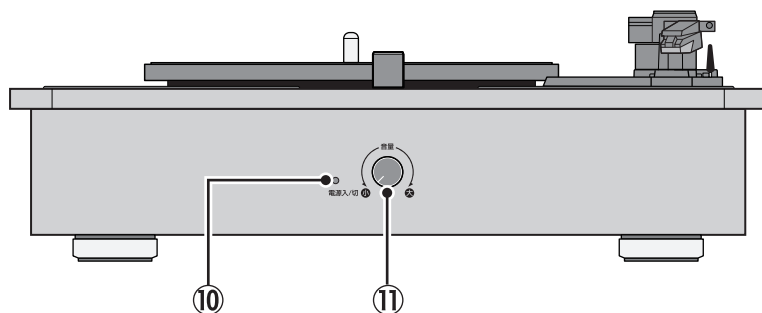
## 各部のなまえ

### 【本体上面】



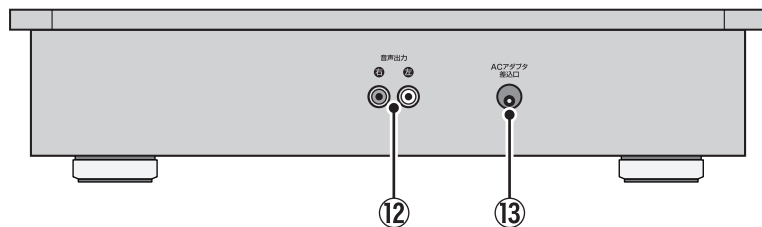
- ①ターンテーブル    ②ドーナツ盤用アダプタ    ③リフトレバー
- ④回転数切替スイッチ    ⑤トーンアーム    ⑥アームレスト
- ⑦ヘッドシェル    ⑧回転速度調整スライダー    ⑨スピーカー

## 【本体前面】



- ⑩電源インジケータ      ⑪電源入切／音量調整ツマミ

## 【本体背面】



- ⑫音声出力端子      ⑬ACアダプタ差込口

## ○ ご使用前の準備

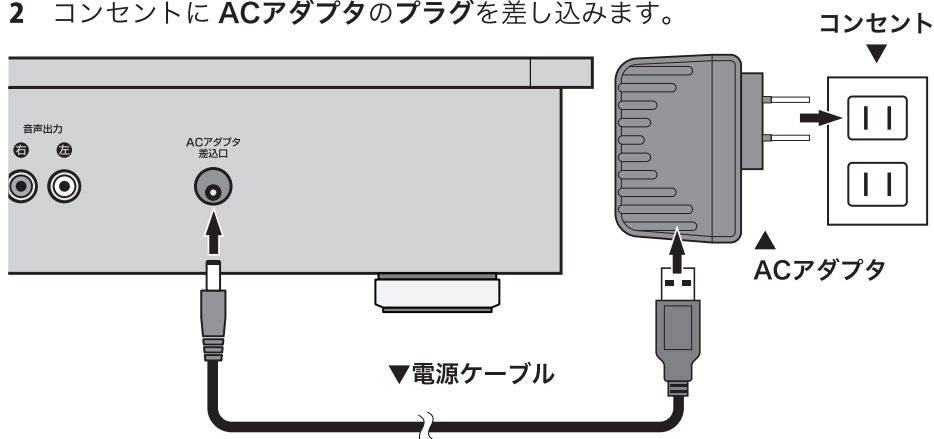
### ■ 設置する

本体を箱から取り出し、硬く平らな安定した場所に置きます。

- △ 本体が傾いていると、音がはずんだり⑤トーンアームがレコード盤の上をすべる原因となります。
- △ 本体に振動が伝わると、音が飛んだり、音が震える、ハウリング等の原因となります。

### ■ 電源の準備

- 1 付属のACアダプタと電源ケーブルを接続し、ケーブル先端の端子を、本体背面⑬ACアダプ差込口に差し込みます。
- 2 コンセントにACアダプタのプラグを差し込みます。



### ■ 電源の入り切り

- 1 本体上面の⑩電源入切ツマミを時計回りに「カチッ」と音がするまで回すと電源が入り、⑩電源インジケータが点灯します。
- 2 ⑩電源入切ツマミを時計と逆回りに「カチッ」と音がするまで回すと電源が切れ、⑩電源インジケータが消灯します。

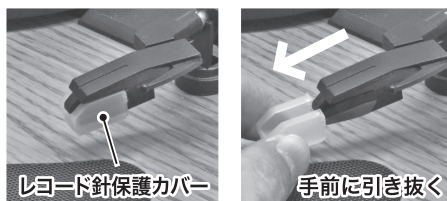


# レコードを聴く

## ■はじめてのご使用前に

- 1 ⑤トーンアームを固定しているワイヤーバンドを外します。
- 2 ⑤トーンアーム先端の⑦ヘッドシェルに付いているレコード針保護カバーを手前に引き抜き外します。

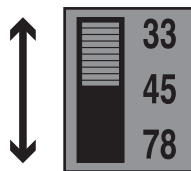
### ●レコード針保護カバーを外す



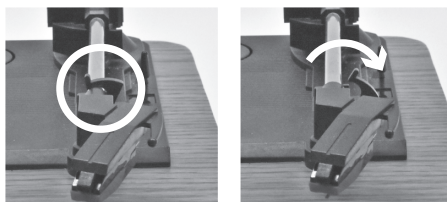
## ■レコードを聴く

- 1 6ページ「■電源の入り切り」の手順に従い、電源を入れます。
- 2 ④回転数切替スイッチをスライドさせ、再生するレコード盤の回転数と合わせます。
- 3 ①ターンテーブルにレコードを置きます。
- 4 ⑥アームレストの固定用のツメを外側に押し、⑤トーンアームのロックを解除します。
- 5 ③リフトレバーを奥側に倒すと⑤トーンアームが上がります。
- 6 ⑦ヘッドシェルのつまみを持ち、⑤トーンアームをゆっくりと①ターンテーブル側に動かすと、①ターンテーブルが回り始めます。

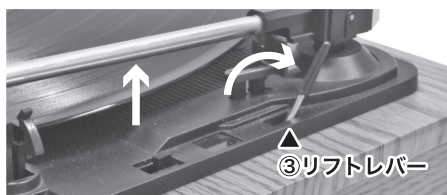
### ④回転数切替スイッチ



### ●⑤トーンアームのロック解除



### ●⑤トーンアームを上げる



## ○レコードを聴く

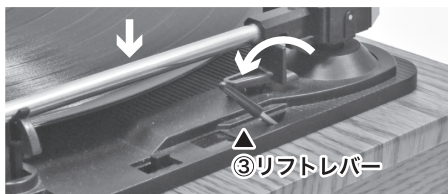
- 7 ⑦ヘッドシェルをレコード盤の再生を開始したい位置に合わせ、③リフトレバーを前側に倒すと、針がレコード盤の上に下り、レコードが再生します。
- 8 ⑪音量調整つまみを回し、ご希望の音量に調整します。

- 9 再生を終了する場合は、③リフトレバーを奥側に倒して⑤トーンアームを上げます。

△レコードは自動で停止しません。

- 10 ⑤トーンアームを⑥アームレストの位置に戻し、③リフトレバーを前側に倒します。

### ●⑤トーンアームを下げる



## ■ドーナツ盤用アダプタについて

ドーナツ盤等、真ん中の穴の大きなシングル・レコードを再生する場合は、付属の②ドーナツ盤用アダプタを使用してください。



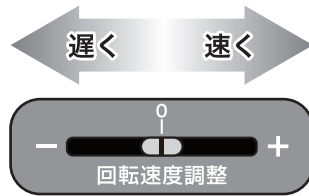
- △ ご使用の前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。
- △ レコード盤のゆがみにより音飛び等、上手く再生しない場合があります。
- △ レコード盤をターンテーブルに長時間放置しないでください。



## ■レコードの回転速度を調整する(ピッチコントロール)

レコードの回転速度が遅かったり速かったり感じた場合は、⑧回転速度調整スライダーで回転速度を微調整することができます。

⑧回転速度調整スライダーを“+”方向に動かすと速く、“-”方向に動かすと遅くなります。

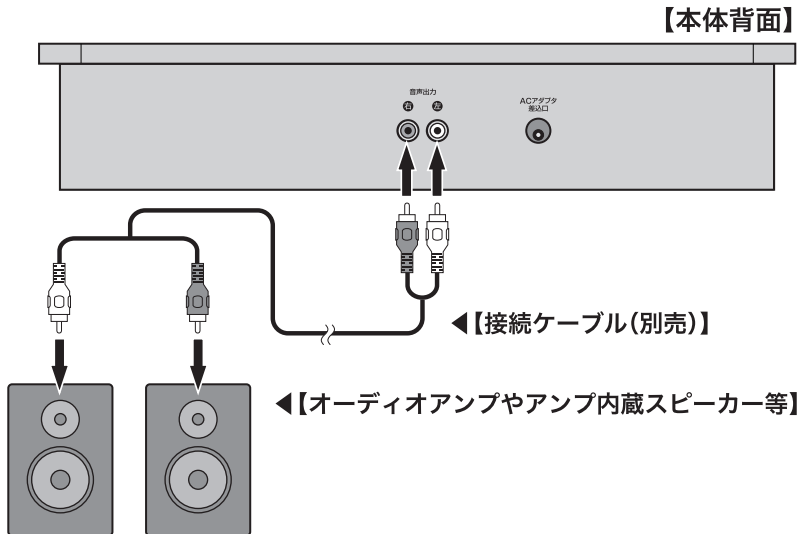


⑧回転速度調整スライダー

## ○音声出力

### ■外部オーディオ機器から音声を出力する

本製品では⑫音声出力端子にオーディオアンプやアンプ内蔵スピーカー等を接続し、音声を出力出来ます。



- △ 本機側端子の形式はRCA端子(ステレオ:赤/白)です。接続の際は別途ケーブルをお買い求めください。
- △ 接続した機器と内蔵スピーカーの選択は出来ません。接続した機器からのみ音声を聴きたい場合は、本機の音量を最小にしてください。
- △ 音量の調整は接続した機器側で行ってください。

## ● お手入れについて

### ■ 本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。

### ■ 針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

### ■ 針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。

本製品の場合、**約200時間**を目安に針を交換してください。

※使用条件によってはこれよりも短くなります。

#### 針の抜き方



①ヘッドシェルを持って、赤いカートリッジを矢印の方向へ下げます。



②前方へ引き抜きます。

#### 針の入れ方



①矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。



②クリック感のあるところまで上に引き上げます。

### 交換用レコード針をお求めのお客様へ

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でレコード針をお求めのお客様のために「交換用レコード針」を販売しております。

お求めの際は下記までお問合せください。

【株式会社クマザキエム】 TEL : 045-473-0002

【直販サイト】 <http://www.bearmax.jp>

## ●故障かな?と思ったら

お買上げの販売店等にご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。  
ご確認の上で、さらにご不明な点がある場合は、お買上げの販売店もしくは保証書にある発売元にお問い合わせください。

症 状	対処方法
ターンテーブルが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACアダプタが正しく接続されているかご確認ください。</li> <li>・ 電源が入っているかご確認ください。</li> </ul>
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音量調整ノブで音量をあげてください。</li> <li>・ 他のオーディオ機器と接続している場合は、接続機器の音声入力をご確認ください。</li> </ul>
・ パチ、パチという雑音ができる ・ 音が飛ぶ ・ 音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レコード盤にホコリやゴミがついていたら、専用のクリーナーでお手入れしてください。</li> <li>・ レコード盤にソリやキズがないか確認してください。</li> <li>・ カートリッジの針先にゴミやホコリが付いていたら、やわらかいブラシなどでお手入れしてください。</li> <li>・ カートリッジの針先が磨耗していたら、針を交換してください。</li> <li>・ 本機を安定した台に設置してください。</li> <li>・ 針先が正しく固定されているか確認してください。</li> </ul>
ハウリングをおこす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スピーカーが振動に影響されないしっかりした場所の上に設置してください。</li> </ul>
ハム音ができる ※ブーンと言う音	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビなど他の電気製品から離してください。</li> <li>・ 他のオーディオ機器と接続されている場合は、音声用ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。</li> </ul>
・ 曲のテンポがおかしい ・ 音程がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回転数切替スイッチがレコード盤の回転数と合っているかご確認ください。</li> <li>・ 回転速度調整スライダで調整してください。</li> </ul>

※他社の交換針をご使用になった場合の性能劣化や故障については、保証対象外となります。